

安全データシート

1. 化学品等及び会社情報

化学品等の名称	アバメクチン
製品コード	99052259
供給者の会社名称	林 純薬工業株式会社
住所	大阪府大阪市中央区内平野町3丁目2番12号
担当部門	マーケティング・商品開発部 商品企画グループ
電話番号	06-6910-7290
緊急連絡電話番号	06-6910-7290
FAX番号	06-6910-7340
URL	http://www.hpc-j.co.jp
E-mail	mpd@hpc-j.co.jp

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性	急性毒性(経口) 区分2 急性毒性(吸入:粉じん) 区分1 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分外 皮膚感作性 区分外 生殖毒性 授乳影響 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(神経系)
環境有害性	水生環境有害性(急性) 区分1 水生環境有害性(長期間) 区分1 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険有害性情報

危険

H300+H330 飲み込んだり、吸入すると生命に危険

H362 授乳中の子に害を及ぼすおそれ

H372 長期にわたる、又は反復ばく露による神経系の障害

H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)

妊娠中、授乳中は接触を避けること。(P263)

粉じん、ヒュームを吸いしないこと。(P260)

取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)

環境への放出を避けること。(P273)

呼吸用保護具を着用すること。(P284)

応急措置	ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。 (P308+P313) 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。(P314) 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340) 直ちに医師に連絡すること。(P310) 特別な治療が緊急に必要である。(P320) 口をすぐのこと。(P330) 漏出物は回収すること。(P391)
保管	容器を密閉して冷蔵保管すること。(P403+P233) 施錠して保管すること。(P405)
廃棄	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名又は一般名

混合物

Abamectin

B1a:(10E,14E,16E,22Z)-(1R,4S,5'S,6S,6'R,8R,12S,13S,20R,21R,24S)-6'-(S)-sec-butyl]-21,24-dihydroxy-5',11,13,22-tetramethyl-2-oxo-3,7,19-trioxatetracyclo[15.6.1.14,8.020,24]pentacosa-10,14,16,22-tetraene-6-spiro-2'-(5',6'-dihydro-2'H-pyran)-12-yl 2,6-dideoxy-4-O-(2,6-dideoxy-3-O-methyl- α-L-arabino-hexopyranosyl)-3-O-methyl- α-L-arabino-hexopyranoside

B1b:(10E,14E,16E,22Z)-(1R,4S,5'S,6S,6'R,8R,12S,13S,20R,21R,24S)-21,24-dihydroxy-6'-isopropyl-5',11,13,22-tetramethyl-2-oxo-3,7,19-trioxatetracyclo[15.6.1.14,8.020,24]pentacosa-10,14,16,22-tetraene-6-spiro-2'-(5',6'-dihydro-2'H-pyran)-12-yl 2,6-dideoxy-4-O-(2,6-dideoxy-3-O-methyl- α-L-arabino-hexopyranosyl)-3-O-methyl- α-L-arabino-hexopyranoside

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
アバメクチン	95.0%以上	(B1a) C ₄₈ H ₇₂ O ₁₄ (B1b) C ₄₇ H ₇₀ O ₁₄		8-(5)-446	71751-41-2

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 情報なし

毒物及び劇物取締法 毒物(指定令第1条) アバメクチン及びこれを含有する製剤。
ただしアバメクチン1.8%以下を含有する物を除く。

4. 応急措置

吸入した場合

呼吸が困難な場合には、新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

特別な処置が必要である。

医師の手当、診断を受けること。

皮膚に付着した場合

汚染した衣服、靴、靴下を脱がせ遠ざける。接触した身体部位を水と石鹼で洗うこと。

医師の手当、診断を受けること。

眼に入った場合

直ちに清浄な流水で15分以上洗眼する。

医師の手当、診断を受けること。

飲み込んだ場合

口をすぐのこと。

特別な処置が必要である。

直ちに多量の水を飲ませる。

医師の手当、診断を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤

使ってはならない消火剤

特有の危険有害性

特有の消火方法

消火を行う者の保護

水噴霧、粉末消火薬剤、二酸化炭素、泡消火薬剤、乾燥砂

高圧棒状放水

火災時に刺激性もしくは有毒なフェームまたはガスを発生する。

周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。

移動不可能な場合、容器及び周囲の設備等に散水し、冷却する。

着火した場合、初期消火は、火元(燃焼源)を断ち、適切な消火剤を用いて一挙に消火する。

消火作業の際は、空気呼吸器を含め防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外は近づけない。

適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。

立ち入る前に、密閉された場所を換気する。

作業の際には、吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、必ず適切な保護具を着用し、風下で作業を行わない。

環境中に放出してはならない。

本製品は、水汚染物なので土壤汚染、もしくは排水溝及び排水系及び大量の水に流入することを防止する。

漏出物は、粉塵を発生させないように注意し、できるだけ掃き集めて密閉できる空容器に回収し、安全な場所に移動する。

回収跡は多量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用して作業する。

長時間または反復の暴露を避ける。

漏れ、あふれ、飛散しないように取扱い、ミスト、蒸気の発生を少なくし、換気を十分にする。

作業後は容器を密栓し、うがい手洗いを十分にする。

取り扱う場合は局所排気内、又は全体換気の設備のある場所で取り扱う。

使用前に使用説明書を入手すること。

周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

接触、吸入又は飲み込まないこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。

排気用の換気を行うこと。

環境への放出を避けること。

安全取扱注意事項

保管

保管条件

施錠して保管すること。

直射日光を避け、冷蔵保管する。容器を密閉し、火気、熱源より遠ざける。

遮光した気密容器

容器包装材料

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
アバメクチン	設定されていない		

設備対策

取扱場所での発生源の密閉化、または局所排気装置、全体換気装置の設置。取扱い場所の近くに安全シャワー、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

呼吸器の保護具

防塵マスク、自給式呼吸器(火災時)。

手の保護具

不浸透性保護手袋

眼の保護具

保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)

皮膚及び身体の保護具

不浸透性前掛け、不浸透性作業衣、保護長靴。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態

固体

形状

結晶粉末

色

類白色

臭い

情報なし

臭いのしきい(閾)値

データなし

pH

データなし

融点・凝固点

161.8 - 169.4°C

沸点、初留点及び沸騰範囲

融点で分解するため測定不能

引火点

データなし

蒸発速度

情報なし

燃焼又は爆発範囲

データなし

蒸気圧

<3.7 × 10⁻⁶ Pa (25°C)

比重(密度)

1.1 ± 0.02 g/cm³ (22°C)

溶解度

水: 1.21 × 10³ μg/L (25°C)

n-オクタノール／水分配係数

logPow=4.4 ± 0.3 (pH7.2 ± 0.1)

動粘性率

データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

通常の取扱条件においては安定。

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

日光、熱。

混触危険物質

データなし

危険有害な分解生成物

窒素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性: 経口

ラット LD₅₀: 8.7mg/kg(♂)、12.8mg/kg(♀) (溶媒: ゴマ油)より、区分2とした。

ラット LD₅₀: >330mg/kg(♂♀)

ラット LC₅₀: 0.034-0.051mg/kg(♀)より、区分1とした。

ウサギを用いた皮膚刺激性試験の結果、皮膚刺激性を示さなかつたことから、区分外とした。

ウサギを用いた眼刺激性試験の結果、刺激性は無い、又は軽微な刺激性があると考えられたが、詳細なデータがないため、分類できないとした。

モルモット(♀)を用いた皮膚感作性試験(Maximization法)及びマウスを用いた皮膚感作性試験(局所リンパ節法)において、いずれの試験でも皮膚感作性は認められなかつたことから、区分外とした。

ラットを用いた強制経口投与による2世代繁殖試験において、親動物では、検体投与の影響は認められなかつた。児動物では、0.40 mg/kg 体重/日投与群で出生日の死亡児数増加等が認められた。乳汁中濃度測定試験において、アバメクチンが乳汁中高濃度で認められたことから、哺育児は乳汁を介して高濃度のアバメクチンに暴露されたと考えられた。これらの結果から、授乳影響とした。

ラットを用いた強制経口投与による90日亜急性毒性試験の結果、4.0 mg/kg 体重/日投与群の雌雄で軽微な振戦、爪先歩行等が認められたため、区分1(神経系)とした。

生殖毒性

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)	魚類(コイ)のLC ₅₀ 値:14.4(μg/L,96h)、および甲殻類(オオミジンコ)のLC ₅₀ 値:0.37(μg/L,48h)より、区分1とした。
水生環境有害性(長期間)	急性毒性が区分1、急速分解性がないと推定される(log Pow>4)ことから、区分1とした。
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に、内容を明示して処理を委託する。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報

UN No.	IMOの規定に従う。
Proper Shipping Name.	2811
Class	TOXIC SOLID, ORGANIC, N.O.S.
Packing Group	6.1
Marine Pollutant	I
Transport in bulk according to MARPOL 73/78,Annex II ,and the IBC code	applicable Not applicable

航空規制情報

UN No.	ICAO／IATAの規定に従う。
Proper Shipping Name.	2811
Class	TOXIC SOLID, ORGANIC, N.O.S.
Packing Group	6.1 I

国内規制

陸上規制情報

海上規制情報

国連番号	該当しない
品名	船舶安全法の規定に従う。
国連分類	2811
容器等級	その他の毒物(有機物)(固体)(他の危険性を有しないもの)
海洋汚染物質	6.1
MARPOL 73/78 附属書II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質	I 該当 非該当

航空規制情報

国連番号	航空法の規定に従う。
品名	2811
国連分類	その他の毒物(有機物)(固体)(他の危険性を有しないもの)
等級	6.1 I

特別安全対策

運搬に際しては、容器の転倒、損傷、落下、荷崩れ等しないように積み込み、漏出のないことを確認する。

緊急時応急措置指針番号

154

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法	毒物(指定令第1条)
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項
船舶安全法	毒物類・毒物(危規則第2, 3条危険物告示別表第1)
航空法	毒物類・毒物(施行規則第194条危険物告示別表第1)
港則法	危険物・毒物類(法第21条2、則第12条、昭和54告示547別表二)

16. その他の情報

参考文献

国際化学物質安全性カード(ICSC)

16615の化学商品(化学工業日報社)

独立行政法人 製品評価技術基盤機構

The Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH

その他

当該製品の化学物質製品を取り扱う事業者に対して提供するものであり、安全を保証するものではありません。

現時点における該当化学物質の情報を全て検証しているわけではありません。

当該化学物質について常に未知の危険性が存在するという認識で、製品運搬・開封から廃棄に至るまで、安全を最優先して使用者自己の責任においてご使用下さい。

当該化学物質を使用する際は、使用者自ら安全情報を収集すると共に使用される場所・機関・国などの、法規制等については使用者自ら調査し最優先させてください。

国または地方の規制についての調査は、当社としては行いかねますので、この問題については使用者の責任で処理願います。

このSDSは林 純薬工業株式会社の著作物です。

当該物質の日本語によるSDSと他国言語にて翻訳されたSDSが存在する場合、内容の相違があるなしに問わらず日本語で記述された文書が優先され他国言語による文書は参考文書とします。